

SKYSEA

Client View

Ver. 3

[技術資料]

資料をご利用の際には Web サイトをご確認いただき、最新の技術資料をお使いください

— 不許可端末検知 —

■ 資料の目的

(2009/04/23 更新)

- SKYSEA Client View の不許可端末検知についての説明資料です。
- 不許可端末検知のログや遮断など、稼動に対して使用するシステムリソースは微小です。
導入に必要な端末は、SKYSEA Client View の動作用件を満たしていればご利用いただけますので、割愛させていただきます。

SKYSEA

不許可端末検知・遮断の仕組み

SKYSEA
Client View

Ver. 3

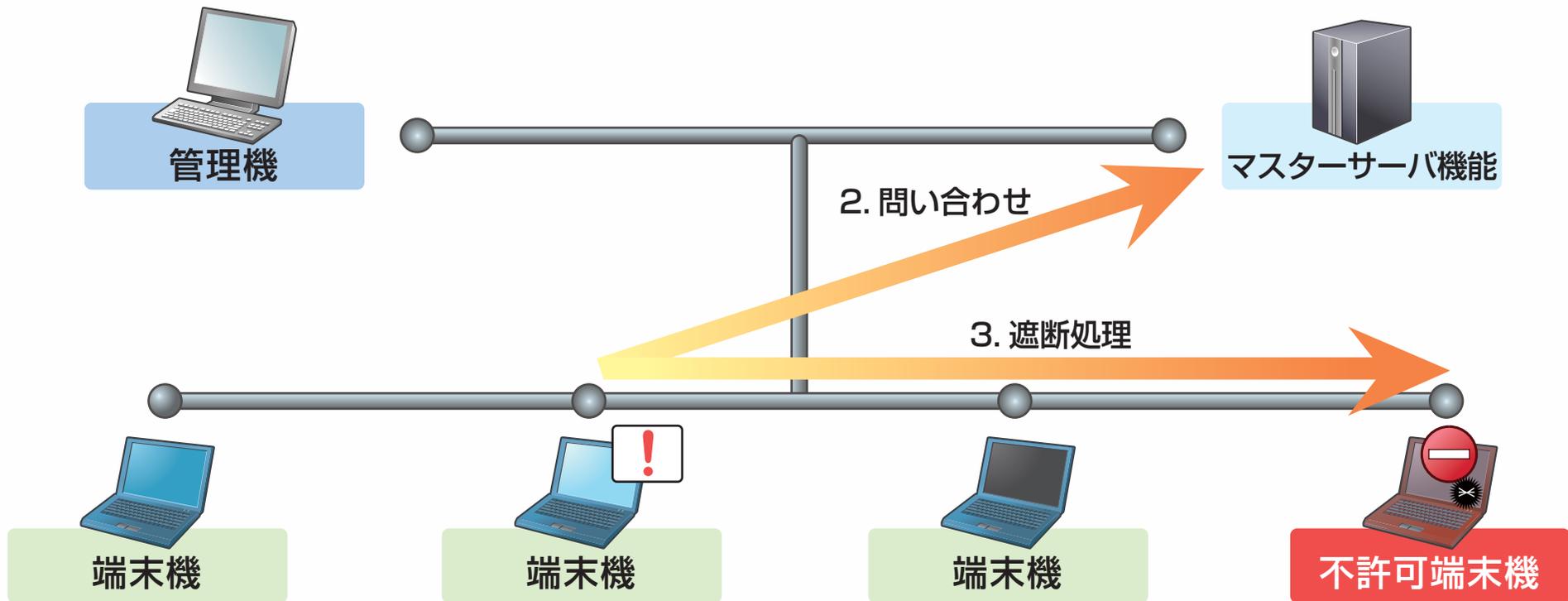
[技術資料]

SKYSEA Client View は、登録されていない PC が接続されると、メール通知とログ出力、遮断を行います。

【動作の流れ】

1. SKYSEA Client View がインストールされ、電源が ON 状態の端末（管理機・端末機問わず）は、不許可端末が接続されていないかの監視を行います。検知用に新たなプログラムをインストールする必要はありません。
2. SKYSEA Client View がインストールされた端末は、検知した端末が正規のものか不許可のものをマスターサーバに問い合わせます。
3. 不許可端末と判定した場合、ログ出力および、設定に応じ遮断処理を行います。

1. 監視セグメント



SKYSEA

不許可端末検知・遮断の制限事項



不許可端末検知は、ブロードキャストセグメント内に SKYSEA Client View がインストールされ、電源が ON 状態の端末機が必ず 1 台以上必要です。
ネットワークカードのチーミング設定をされている端末では本機能はご利用いただけません。
また、誤動作を防止するためサーバ OS に SKYSEA をインストールした場合、初期設定では不許可端末検知機能は無効化されております。ご利用になる場合は、同機能を有効化してください。

■不許可端末検知・遮断に必要な仕組み

マスターサーバ	不正な端末かどうかの判断材料となる、SKYSEA 端末の情報や除外端末のリストを保有します。
データサーバ	端末機で取得した不許可端末の情報を、ログとして保存します。
管理機	不許可端末検知・遮断の設定を行います。また、管理機は端末機機能を有しますので、端末機としての機能も稼働します。
端末機	所属するブロードキャストセグメント内の端末を監視し、設定に応じ遮断も行います。

※不許可端末検知のログや遮断など、稼働に対するシステムリソースは微小です。
SKYSEA Client View の動作要件を満たしていればご利用いただけます。

